

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公開番号】特開2016-34488(P2016-34488A)

【公開日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-016

【出願番号】特願2015-148555(P2015-148555)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/10 (2013.01)

【F I】

A 6 1 M 25/10 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月29日(2017.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

閉塞サイトを横切るアクセスを提供するシステムであって、

膨張ルーメンを有するスリーブと、

前記スリーブの遠位部に配置されたブッシングと、

前記ブッシングにより前記スリーブに連結された外返り部材であって、前記膨張ルーメン中の圧力の増加に応じて、前記スリーブ内側の内返り位置から前記スリーブ外側の外返り位置に移動可能である外返り部材と、

を含むシステム。

【請求項2】

前記外返り部材が、前記ブッシングの中に部分的に内返しされた請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記スリーブに連結されたアンカー部材であって、前記アンカー部材は、前記膨張ルーメンと流体連通しており、前記膨張ルーメンが、閉塞サイトに近接して前記スリーブを固定するのに十分なアンカー圧力に加圧されると、前記スリーブを閉塞サイト近傍に固定するよう、収縮位置から膨張位置に拡張可能なアンカー部材をさらに含む請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

前記スリーブが、前記ブッシングを受容する大きさの、広がった遠位部分を含む請求項1に記載のシステム。

【請求項5】

閉塞サイトを横切るアクセスを提供するシステムであって、

ルーメンを有するスリーブと、

前記スリーブに連結された外返り部材と、

前記外返り部材を前記スリーブ内側の内返り位置から前記スリーブ外側の外返り位置に移動するために、前記スリーブの前記ルーメン内にスライド可能に配置され、且つ前記外返り部材の近位端に接続されたプッシュアセンブリと、

を含むシステム。

【請求項6】

前記外返り部材を前記スリーブに連結するように、前記スリーブの遠位部に配置されたブッシングをさらに含む請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記スリーブに連結されたアンカー部材であって、前記アンカー部材は、前記膨張ルーメンと流体連通しており、前記膨張ルーメンが、閉塞サイトに近接して前記スリーブを固定するのに十分なアンカー圧力に加圧されると、前記スリーブを閉塞サイト近傍に固定するように、収縮位置から膨張位置に拡張可能なアンカー部材をさらに含む請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記ブッシュアセンブリが、前記外返り部材の前記近位端に接続された内側スリーブ部材と、前記内側スリーブ部材から近位に延在する固いブッシュチューブと、を含む請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記ルーメンを封止するために、前記ルーメンの壁と前記ブッシュアセンブリの壁との間に配置された封止部材をさらに含む請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記ブッシュアセンブリが、そこを通してガイドワイヤを受容するように構成された内側ルーメンを含む請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 11】

閉塞サイトを横切るアクセスを提供するシステムの組立方法であって、
端部が開いたバルーン材料の内側にブッシングを配置する工程と、
前記ブッシングを通して前記バルーン材料を内返しする工程と、
前記ブッシングと前記バルーン材料のアセンブリをスリーブの中に挿入する工程と、
を含む組立方法。

【請求項 12】

前記バルーン材料の内返しした端部を封止して、バルーンを作成する工程をさらに含む請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

閉塞を開通する方法であって、
スリーブと前記スリーブの膨張ルーメンの中に内返ししたバルーンとを通してガイドワイヤを前進させる工程と、
前記バルーンにより前記ガイドワイヤをグリップする工程と、
前記バルーンによりグリップされた前記ガイドワイヤを遠位に前進させるように、前記バルーンを前記スリーブから外返しする工程と、
を含む方法。

【請求項 14】

前記前進させる工程において、前記スリーブが、前記スリーブに連結されたアンカー部材であって、前記アンカー部材は、前記膨張ルーメンと流体連通しており、前記膨張ルーメンが加圧されると、前記スリーブを閉塞サイト近傍に固定するように、収縮位置から膨張位置に拡張可能なアンカー部材をさらに含む請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記外返しする工程が、バルーンを外返し及び再度内返しして、前記ガイドワイヤを周期的に前進及び後退させることを含む請求項 13 に記載の方法。